

「EBPMによる地域インフラ群マネジメントに関するシンポジウム」を開催しました。



▲研究開発責任者 貝戸准教授（大阪大）の講演

令和6年1月19日（金）に大阪大学中之島センター（大阪市北区）で「EBPMによる地域インフラ群マネジメントに関するシンポジウム」を開催しました。

（主催：SIPインフラe-2、共催：大阪大学大学院工学研究科テクノアリーナ、後援：（一社）日本アセットマネジメント協会）

サブ課題e-2では、本イベントをキックオフシンポジウムとして、EBPMによる群マネ構築に向けて全力で取り組みます。

本シンポジウムでは、「スマートインフラマネジメントシステムの構築」の概要についてPM・長井教授（北海道大）から紹介がありました。サブ課題e-2参画研究者からは、小林名誉教授（京都大）によるインフラマネジメントの広域連携に関する基調講演、貝戸准教授（大阪大）によるサブ課題e-2の研究開発計画に関する講演がありました。また、実務者の視点から、NEXCO西日本の中村企画調整課課長代理、インフロニア・ホールディングスの川井インフラサービス改革室長、貝塚市の七野公共施設マネジメント室長が、今後のインフラマネジメントに関する考えを講演しました。会場での参加者は約80名、オンラインでの参加者は約200名と多くの方にご参加いただくことができました。今後もSIPインフラe-2は、インフラマネジメントの課題と対策に関する知識の共有と理解を深める機会を大切にして、研究開発・社会実装を進めてまいります。



▲プロジェクトマネージャー（PM）
長井教授（北海道大）の講演



▲社会実装担当者
小林名誉教授（京都大）の講演